

四時ダムESCO事業について

様式2



鮫川水系ダム管理事務所
業務課長 阿部 雅彦

(ダム管理用発電の新たな手法)

施工場所: 福島県いわき市川部町大沢地内

1. はじめに

四時ダムESCO事業は、民間の持つ資金、経営能力等を活用し、民間事業者が新たに水力発電機を設置して発電を行うとともに、ダム管理所等の電気設備の省エネルギー化を図り、電気使用量を削減することにより、ダム管理における環境負荷低減と光熱費の削減、更に賦存の再生可能エネルギーの有効活用を図ることを目的とした東北初の事業である。



2. 背景

平成23年3月11日の東日本大震災以降、再生可能エネルギーが注目されてきたが、近年、水力発電設備の低コスト化技術が進むとともに、平成24年7月1日から「再生可能エネルギーの固定買取制度」が始まり、本事業を導入する環境が整った。



3. 内 容

事業者は、自らの資金で水力発電設備を含む省エネ機器改修の設計・施工を実施し、その後の運転・維持管理等を行うとともに、省エネルギー効果を保証する。

契約期間終了後(平成46年3月まで)は、発電設備等を県に無償譲渡する。

●発電所概要

水車:横軸フランシス水車

最大取水量:1.0m³/s

有効落差:56.17m

最大出力:470kW

発電電力量:約275万kWh/年

運転開始:平成27年4月 予定

●省エネルギー改修

照明のLED化

空調機改修(高効率)

給湯器改修(高効率)

4. 事業効果(県のメリット)

- 水力発電設備等に要する初期投資が必要ない。
- ダム管理に必要な電気料の削減が図れる。
- 契約終了後は、水力発電設備が無償譲渡され、売電収入等をすべて得られる。

5. おわりに

四時ダムは、交通の便もよく一般に開放されているダムです。

ダム見学も常時受け付けておりますので、HPからお気軽にお申し込みください。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41383a/>